

「次世代半導体製造拠点取水可能性調査事業委託業務」
第3回有識者懇話会 議事録

日 時： 令和5年（2023年）9月28日（木） 16:00～17:10
場 所： TKP 札幌ホワイトビルカンファレンスセンター ホール2B
出席者： 別紙「出席者名簿」のとおり
議 題： 1. 水源候補地の評価（案）
2. 千歳川の評価（案）
3. 苫小牧地区工業用水道（安平川）の評価（案）
4. 総合的な評価（案）

議 事：

（1）議題1～2

ア 事務局から資料説明

〔特記事項〕

・資料1の p. 4～p. 11（議題1～2）について説明

イ 質疑応答（有・無）

○構成員

想定される事業期間を、もう少し短くする可能性はないのでしょうか。

○事務局

許可申請が順調にいくことを前提に、非常にタイトな工期を加えて事業期間を想定しています。

○構成員

手続きだけでも多くの時間を要することは、調べてみて判明したことなのですか。検討せずとも想定できたのではないのでしょうか。

○事務局

協議関係者がいることは承知していましたが、期間を短くできないか改めて検討して整理しました。

（2）議題3

ア 事務局から資料説明

〔特記事項〕

・資料1の p. 12～p. 15（議題3）について説明

イ 質疑応答（有・無）

○構成員

調査・調整が想定どおりいかなかった時に、何か対応できることはありますか。

○事務局

送水管の施工順序を調整など、工事区間内での工夫ができると考えています。

○構成員

環境影響の項目で動植物への影響とは、工事を実施する時の影響を指しているのでしょうか。

○事務局

河川内の工事が不要なため、動植物への影響は低いと考えています。

○構成員

水を取ることにかかる環境負荷はないのでしょうか。

○事務局

水利権を取得する際に、影響を考慮していると考えています。

○構成員

苫小牧工水の水利権を取得する際に、水を取ることは評価済みなので、あとは工事着手に伴う影響を考慮すればよいということですね。

○構成員

その考えで環境的には問題ないということですか。

○事務局

事業を進めるなかで、環境影響に対する意見を聞きながら対応することが必要だと考えています。

○構成員

苫小牧工水の水を、千歳川に排水することを気にする方もいると思います。「明確に問題があるわけではない」という事だけでも言えないのでしょうか。

○事務局

以前ご紹介した道央注水工に比べると少ない水量のため、影響はゼロとは言えませんが小さいものと考えています。

○構成員

送水管の整備延長が長い方が、ランニングコスト（利用料金）が大きくなるのでしょうか。

○事務局

試算はしていませんが、千歳川案では浄水場を作ることで電気代が増えるのに対し、苫小牧工水案では既存施設が活用できるなど、一概に管の延長だけでは比べられないと考えています。

(3) 議題 4

ア 事務局から資料説明

[特記事項]

・資料1の p. 16～p. 17（議題4）について説明

イ 質疑応答（有・無）

○構成員

総合評価には事業期間と事業費について書かれていますが、環境影響に触れられていない印象を持ちました。量産開始までに確保できるかという観点のみでしか評価していないように感じます。

○事務局

わかりやすさを重視して、評価のポイントを4つ記載しました。

○構成員

個別の評価項目では環境負荷が低いと評価していますが、総合評価は期間や事業費でしか評価していないと見えてしまいます。

○構成員

これについては、書きぶりかなと感じます。千歳川は新たな調査が必要ですが、苫小牧工水は既に

調査が済んでいるなどについて丁寧に書くと良いと思います。

○構成員

私も同意見で、総合評価する上で環境は前提の話だと思いますので、1項目付け加えれば、より総合評価らしくなるのではないのでしょうか。

○事務局

有識者の方々から、環境は最も重要であり最初のフィルターであるとの意見を頂いたので、その観点で再整理し、最終的なものに追記したいと思います。

○構成員

将来的な水需要への対応については、必要になった時に改めて考えるという理解で良いですか。

○事務局

おっしゃるとおりですが、当然将来的な水需要は考えられますので、新たな水源の確保を引き続き検討する場合は、この懇話会の議論を参考にできるように注釈を付けたものです。

○構成員

今後、需要が増えた場合も苫小牧工水に決めている訳ではないですよ。

○事務局

今の時点で、将来の水需要増加に対して苫小牧工水をあてにすることは考えていません。

○構成員

苫小牧工水となって詳細に調査した結果、どうしてもダメになった場合のリスク回避として、他の案も継続して検討するのでしょうか。

○事務局

検討には労力やコストがかかるため、代替案を何案も検討するのは難しいと思います。ただ、そういうリスクに対して、並行して他の選択肢も調査しておくことは大事であると考えています。

○構成員

苫小牧工水を第一候補にすることには、これまでの検討を踏まえて賛成です。

まだ余剰分のある苫小牧工水を、ラピダスのために有効利用する事は良いことだと思いますが、苫東地域は今も新規立地があるので、今後の立地にブレーキがかかるようでは本末転倒です。苫東地域の立地が進んで水が足りなくなったときに、しっかり水が供給される青写真を描いておいて欲しいです。

美々ワールドにも同じことが言えまして、他の関連企業の立地を見据えることが重要であり、ラピダスだけで終わりにしないで欲しいというのが私の強い意見です。

○構成員

ラピダス社の事業は、これからの経済を動かしていく上で非常に重要になると思いますが、今後の詳細な検討や将来の水需要への対応に当たっては、自然環境への配慮に必要な検討を行い、事業を進めるようお願いしたいです。

○構成員

懇話会での検討の結果、苫小牧工水がベターという決着かと思います。

<出席者全員から異義なし>

(以上をもって議事は全て終了のため、進行を事務局に戻す。)